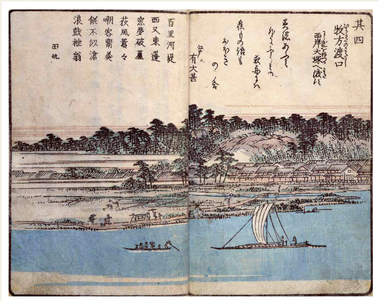
1,790×1,000／看板

三十石船とくらわんか舟
Sanjikkoku-bune and Kurawanka-bune
(Sight-seeing ship which was operated between Fushimi and Osaka)



枚方渡口
Hirakata-toguchi Shore

枚方駅の船宿
Hirakata-eki no Funa-yado (Sailar's Inn)

西見附（にしみつけ）

Nishimitsuke *(West gate of old post town)*

江戸時代を通じて多くの旅人が枚方宿（ひらかたしゅく）を通行しましたが、時には外国人の旅行者が、枚方宿のことを記録に残しています。ケンペル、申維翰（シンユハン）、ツンベルク、シーボルト、アーネスト・サトウなどです。大坂・京都間のほぼ半ばにある枚方宿では、休憩・食事をとることが多かったようです。

彼らのうち、枚方宿の様子を詳しく記しているのは、ケンペルとシーボルトです。両人ともドイツ人で、オランダ東インド会社の商館長の江戸参府に医師として随行しました。シーボルトは「枚方の環境は非常に美しく、淀川の流域は私に祖国のマインの谷を思い出させるところが多い」と想起しています。

English guide
한국어 안내
中文 指南